

たつのまち 議会 だより

No.
80

日本のど真ん中
信州辰野町



Center of Japan

36° 00' 00" N 138° 00' 00" E



たつの海 (いいまちたつの知らせ隊)

コロナ禍でガンバル各種団体との懇談

委員会活動報告	2	議会活性化委員会	7
12月定例会報告	4	一般質問	8
委員会レポート	6	町民の声	14
議会ペーパーレス検討会	7		



辰野町議会

総務産業

常任委員会



委員会

日頃の委員会活動の中から、

◇かやぶきの館指定管理者と懇談



10月24日、かやぶきの館や土恋処よこかわなどを含めた「グリーンビレッジ横川」の現状について情報交換し改善策を探るため、現地で懇談しました。(株)TAG BOATは共和堂新聞店が母体になり約2年前に設立した会社で、昨年4月からかやぶきの館などを管理運営しています。

この間の取り組みについて、スタッフがチームとして取り組むことを大切にし、正社員を増やしたこと、地元の食材を生かした料理に取り組んでいること、イベントや宣伝を工夫していること、新型コロナで大きなダメージを受けたが、町の支援も受け工夫努力していることなどが話されました。

懇談では「この地域に愛されるかやぶきの館」をどう創っていくか、利用者の不満、意見への対応などの課題について、率直に意見を交わし、認識を深めました。

◇ほたるシール組合と懇談



11月9日、コロナ禍で苦しむ町事業者の生の声を聞き、支援策を考えることを目的に懇談を行いました。

組合側からは、町支援のほたるシール2倍セールに続き10倍セールができ、プレミアム付商品券と相まって「辰野はすごい」と話題になり、前年比数倍の売り上げになったこと、この中で会員が62店舗から73店舗に増えた一方、10倍セール後は消費が落ち込んでいることなどの説明がありました。

懇談では、町支援策の効果を再認識するとともに、今後の振興策について、12月にほたるシール3倍セールを組合の自力で行うこと、商店街駐車場の再開・確保の課題や新たな町の支援策などについて、意見を交わしました。

◇商工会工業部・町経営指導員と懇談



11月9日、コロナ禍の町内製造業の状況を把握して支援策を考えることを目的に、懇談を行いました。

商工会からは、事業所によって差があるが、金曜休みなど7割操業の事業所がある状況が報告されました。

町産業振興課からは、受注を拡大するため町内150の製造業の事業所を訪問してアンケートを取り、事業所の内容や特徴を紹介した冊子を作ったことや、訪問の中で出された相談や悩みについて報告がありました。

今後については、20年12月で終了予定の雇用調整助成金の延長が必要なことや、インターネットなどを通じて町内製造事業所の魅力を広く発信することなどについて意見を交わし、認識を深めました。

活動報告

いくつか報告させていただきます。

福祉教育

常任委員会

◇町に提言書を提出



10月8日付 辰野新聞掲載より

10月6日、これまで委員会において議論を深めてきた中で、地域の要である地域包括ケアシステムにおいて、地域ケア推進会議の未開催や、地域要望の集約不足など地域包括ケアセンターの課題も分かってきました。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことができるように、切れ目ない一体的な支援の構築など早急な体制づくりが必要不可欠として、提言書を提出しました。

◇地域ケア推進会議を開催

12月21日、委員会より提出した提言書の中で、年内開催を求めてきた地域ケア推進会議が、医療・福祉関係者の他、警察署、郵便局、民生児童委員など町を支えている様々な分野の皆さんが一堂に会し初開催されました。辰野町の現状と課題について認識して、地域包括ケアシステムの構築・深化・推進を確認しました。



◇地域おこし協力隊メンバーと懇談

12月11日、総務課所属の地域おこし協力隊の都筑智子さんから、辰野町に関わる学生と地域事業者、住民が一体となり持続可能な活動に主体的に楽しく取り組める環境を作ることをテーマに、SDGsの普及活動や、辰野高校商業科マーケティング授業の外部協力活動の内容を聞き懇談をしました。

SDGs普及活動の実施状況を聞く中で、現在の経済活動の中心を担っている世代の関心や認知度が非常に低いなどの課題が見えてきました。また、辰野高校でのマーケティング授業内容を知ることによって学生たちが自主的にテーマを設けて取り組んでいることに感心させられました。委員会や議会でもSDGsを学び、町政に反映させていくことが重要なのではと懇談するなかで感じました。

※SDGsとは…「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた。2030年までの解決に向けた国際社会共通の目標。



◇辰野高校生徒会と懇談

11月19日、辰野高校にて、新年度生徒会の皆さんと顔合わせを兼ねて懇談をしました。はじめに、桑原俊樹校長に、ご挨拶をさせていただき、今後も協力をして地域に根差した高校づくりをしていくことを確認しました。懇談の中では、今生徒たちが感じていることや、要望を話してもらいました。委員会として何ができるか今後も調査研究を続けていきます。

～ガンバルみんなの 緊急応援(第5弾、第6弾)～

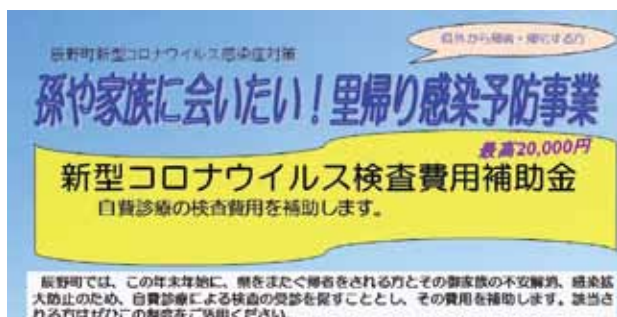
●新型コロナウイルスに負けない補正予算●



- ◇11月臨時会 11月18日開催
- ◇12月定例会 12月1日～12月16日(16日間)開催
- [本会議]○議案審議 12/1・12/16 ○一般質問 12/8・12/9
- [常任委員会]○総務産業/福祉教育常任委員会 12/10

<住民向け支援>

- ◎役場庁舎衛生確保事業(2,448万円)
 - ◇飛沫防止対策のためトイレを改修(6ヵ所)
- ◎里帰り感染予防事業(514万円)
 - ◇町帰省の自費診療検査費補助 上限2万円



里帰り感染予防助成

- ◎季節性インフル予防接種費用助成(89万円)
 - ◇二重感染不安と家計負担軽減のため妊婦、年少児、小1年、中3年を対象。1人1回2,000円
- ◎国保事業主傷病見舞金(35万円)
 - ◇コロナ感染または感染が疑われる場合。

<事業者向け支援>

- ◎商工業振興資金利子補給等(2,300万円)
 - ◇町融資制度振興資金利子補給と保証料補助

<学校・保育園向け支援>

- ◎学校施設コロナ対策環境整備事業(516万円)
 - ◇辰中、東小の手洗器改修工事他
- ◎保育園等コロナ対策環境整備事業(230万円)
 - ◇空調設置工事(東部保、平出保他)
- 問 学童クラブ訪問看護委託料とは何か。
- 答 小学生の訪問看護回数が2回に増加。

<辰野病院事業支援>

- ◎外来診療体制確保等補助(2,326万円)
 - ◇簡易診療室レンタル、清掃委託、マスク等
- 問 レンタル料とは。
- 答 コンテナハウスのレンタル料。
- 問 空気清浄機の設置場所と台数は。
- 答 緊急室、内科診察室、発熱外来等5ヵ所。



辰野病院イルミネーション

<コロナ対策以外の主な事業>

- ◎災害復旧工事等(3,588万円)
 - ◇農業用施設(下辰野、下飯沼沢、門前)
- ◎南小学校長寿命化改良工事等(5億1,817万円)
 - ◇築43年校舎の鉄筋コンクリート劣化対策工事、内装改修他(令和4年1月竣工予定)
- ◎農業振興事業(429万円)
 - ◇強い農業・担い手づくり総合支援交付金で認定農業者の機械設備支援(コンバイン他)
- ◎危機管理防災事業補助金(300万円)
 - ◇空き家等解体事業費予算の追加
- ◎土木総務管理費補助金(1,800万円)
 - ◇定住促進奨励金予算の追加

～条例の制定と主な一部改正～

- <議員、町長選挙運動の公費負担の条例制定>
- ◎選挙用自動車使用料やビラ作成等を公費負担
- <条例の一部改正>
- ◎一般職職員、会計年度任用職員、議会議員、特別職常勤者の期末手当
 - ◇人事院勧告による改正 年間0.05月減
- ◎町霊園使用条例と合葬式墳墓使用料
 - ◇個別埋蔵室、共同埋蔵室使用料を新設
- ◎国民健康保険税
 - ◇個人所得税の軽減判定所得基準引上43万円
- ◎公共下水道受益者負担
 - ◇延滞金特例基準割合他に名称改め

～ 10年間の「まちの将来像」基本指針～

●第6次総合計画基本構想●

<総合計画の位置づけ>

今後10年間で目指す「まちの将来像」と政策を実施する基本方針とまちの土地利用の構想を定め政策の柱を示す。

<実現するための基本方針>

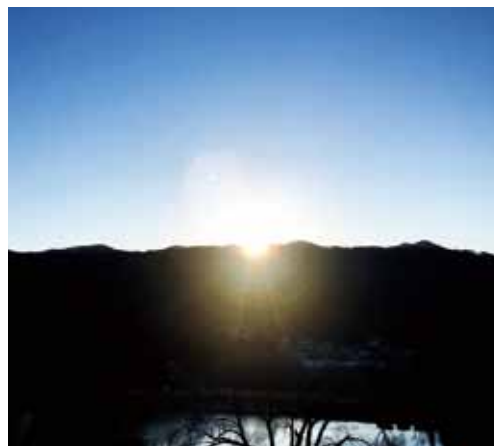
- (1) コンパクトで住みやすい人口減少に対応したまちづくり
- (2) デジタル化など技術の発展や社会変化を活かしたまちづくり
- (3) 豊かな自然環境を守り活かす持続可能なまちづくり

問 町の特色で86%が山林だが、産業に林業がないがなぜか。

答 基本計画の基本目標（7つの政策の柱）の施策に盛り込む。

問 町を取り巻く現状に課題の記述と分析はないがなぜか。

答 課題と明示していないが、基本計画の個別施策に盛り込む。



荒神山公園 初日の出

<その他の審査結果>

付議事件名		主な内容	本会議審査
令和2年度公園施設長寿命化対策工事請負契約		町民体育館壁面剥離等の老朽化対策（株）岡谷組	可決（全員）
令和2年度辰野町事業会計補正予算		下水道事業（施設修繕）、辰野病院（給与改定）	可決（全員）
令和2年度辰野町特別会計補正予算		国保（保険給付費交付金償還金他）、後期高齢者医療（軽減分納付金）、介護保険（介護サービス給付費）	可決（全員）
辰野町公の施設の指定管理者の指定		指定管理者を認定（5施設；委員会レポート参照）	可決（全員）
辰野町道路路線の認定と変更		県道と地辰野線延伸（認）町道79号（変）町道1445号	可決（全員）
報告事項	令和元年度教育事務管理等の評価報告	42事務事業 現状継続27件、改善必要15件で見直し	—
	専決処分の報告	公用車の損害賠償事故（1件） 問 最近、公用車事故が多発しているが対策は。 答 課長会で職員へ注意喚起し、事故現場の照明対策。	—

「私たちはこのように討論し、判断しました。」

【請願・陳情等について】		委員会審査		本会議採決	意見書提出
陳情 (第15号)	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書 (提出者) 地域医療と公立・公的病院を守る長野県連絡会 長野県保険医協会 会長 宮澤裕夫 他7名	福祉教育	一部採択	一部採択 (全員)	あり
陳情 (第16号)	新型コロナウイルス感染症の影響から中小業者の営業と生活を守るため地方創生臨時交付金の活用を求める陳情書 (提出者) 上伊那民主商工会 会長 鈴木正巳	総務産業	趣旨採択	趣旨採択 (全員)	なし
請願 (第17号)	日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める請願書 (提出者) 辰野平和のつどい実行委員会 代表 中條英邦 (紹介議員) 吉澤光男	総務産業	不採択	不採択 (賛成3) (反対8)	なし
	【原案賛成討論 吉澤】 請願を採択すべき。国連はこれまで様々な禁止条約をつくり、大量破壊兵器を禁止してきた。核兵器禁止条約が国際法となる今こそ、ただ一つの戦争被爆国日本は率先して条約に署名すべきだ。これは被爆者の悲願で、世論調査で国民の多くが望んでいることであり非核の世界をつくる道だ。 【原案反対討論 津谷】 核兵器禁止条約発効は核兵器を違法とする国際規範で大きな意義はある。戦争被爆国の日本は条約批准ではなく国際社会の合意形成の要として核保有国と非保有国の真の橋渡しを担い、対話を促し核兵器削減を一步でも進めるため現実の核をどのように管理するかに取り組むべき。				
議員提出議案の審議について				本会議採決	
発議 (第1号)	安全・安心の医療・会議の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出について (提出者) 辰野町議会議員 瀬戸純			採択 (全員)	
発議 (第2号)	国土強靱化対策の推進を求める意見書の提出について (提出者) 辰野町議会議員 向山光			採択 (全員)	

(賛否の判断 請願第17号) ●賛成者 吉澤、向山、瀬戸

●反対者 舟橋、松澤、山寺、樋口、池田、津谷、矢ヶ崎、小澤

委員会レポート

12月議会に諮られた5議案と陳情2件、請願1件の審議が、総務産業・福祉教育の2つの常任委員会に付託されました。検討した主な議案のポイントは次のとおりです。

◆町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定

候補者のポスター・ビラの作成費や選挙用自動車の経費を一定額まで公費で負担する公職選挙法の改正を受けての条例。

問 町が新たに負担する額は。

答 議員1人あたり約50万円。

◆町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険法と地方税法の一部改正に伴う改正。県が国保の財政運営主体となることによる改正と、所得税の基礎控除変更に伴い国保税負担に不公平が生じないようにするための整備。

◆町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

地方税法の一部改正により、受益者負担金の延滞金利率の特例を定める改正。

◆町公共施設の管理者指定の審査

来年4月からの指定管理者の提案について、湯にいくセンター、しだれ栗森林公園、たつの未来館（アラパ）は管理者を公募して選考し、ほたるの里世代間交流施設（茶の間）と辰野町世代間交流施設（世界昆虫館）は、それぞれ現管理者の町社会福祉協議会と世界昆虫館代表を指名した旨の報告がありました。

公募3施設については、審査項目と各事業者の合計評価点数などが説明されました。



問 公募した3施設の業者選定経過は

答 町職員8名で構成する選定委員会と有識者5名で構成する選定審査会が合同でプレゼンテーションを受け、その後合同で審査し、1位票が最も多い業者に決定した。課長2名、有識者1名が欠席した。

意見 委員全員出席確保の努力が必要。

◆町霊園条例及び使用料条例の一部改正

合葬式墳墓の新設に伴い従来の聖地を含めた適正運用、維持管理及び、合葬式墳墓の使用料を定める改正。

問 個別埋蔵室・共同埋蔵室が満杯になった場合は。

答 個別200体、共同300体以上で建設。調査では共同埋蔵室の利用要望が多い、現時点では満杯になることは考えていない。

問 新設される合葬式墳墓の使用料の根拠は。

答 半数利用した場合を建設費で計算した。近隣市町村を調査し、管理手数料込の金額とした。

各常任委員会、全員一致で可決すべきと決しました。

■新型コロナウイルスの影響から中小業者の営業と生活を守るため地方創生臨時交付金の活用を求める陳情

上伊那民主商工会から出された、国保加入事業主への傷病手当金支給や納税緩和措置の活用、中小事業者への暖房費補助など5項目の対応を町に求める陳情。

要望の多くが町として対応済みのため、全員一致で趣旨採択すべきと決しました。

■日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める請願

辰野町平和のつどい実行委員会から出された請願。政府に対して唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶のために2021年1月に発効する禁止条約への署名・批准を求めるもの。

採決の結果、賛成1、反対4名で不採択とすべきと決しました。

■国土強靱化対策の推進を求める意見書

国に対して、防災・減災・国土強靱化のための予算確保などを求める意見書で、全員一致で発議を決定。

■安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

医療・介護・福祉、公衆衛生施策の拡充を求めるもの。

日本の社会保障は十分。社会保障のどの部分を削除すればよいかわからないなどの理由により一部採択すべきと決しました。

本格
始動

議会ペーパーレス検討会

現在、国主導により行政サービスのオンライン化が急速に進む中、行政文書のペーパーレス化も検討されています。そこで、辰野町議会でも将来の議会ペーパーレスを想定した調査・研究を本格的に開始いたしました。以下が現在までの活動ならびに今後の活動内容になります。

先行事例の視察

- 伊那市議会（令和2年2月14日）
事務の効率化と議案や資料などの紙を節約しようと、平成28年に議員と事務局にタブレット導入
- 南箕輪村議会（令和2年11月26日）
コロナ禍において、議員が登庁できない場合にオンラインにより委員会の開催を可能にする条例を制定

活動内容

他自治体への視察以外に4回検討会を実施。議会ペーパーレス化を目指しつつ、できることから取り組んでいく。

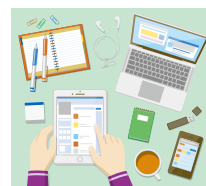
今年度中の具体的取り組み

- ・委員会等の開催通知を Fax からメールへ切替え
- ・LINE アプリを利用し、各委員会内で活用を図る



今後は議員の IT リテラシーの向上を図るとともに、クラウドサービスを活用した資料の共有化の検討や他の自治体の先進事例の研究・調査も継続していく。

また、行政側とも情報交換をし、ペーパーレスを早期に実現させ、業務の効率化と更なる住民サービス向上を図っていききたい。



議会活性化委員会からのお知らせ

新型コロナウイルスの県内拡大があり、今年度の開催は中止することにいたしました。参加予定の町民の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。新型コロナウイルスの感染推移を見ながら、今後については改めて連絡申し上げます。

町民と議員のタウンミーティング

- 【日 時】 令和3年2月19日（金）
- 【場 所】 宮所・樋口コミュニティセンター
- 【内 容】 議会報告、意見交換
- 【分科会】 防災・減災について
地域で住み続けるには

中止

女性タウンミーティング

- 【日 時】 令和3年1月29日（金）
- 【場 所】 辰野町役場
- 【テーマ】 福祉・医療の問題
人口減少問題
子育て支援・教育

中止



いっ
—

ぱん
般

しつ
質

もん
問

一般質問には11名の議員が登壇いたしました。それぞれ違った視点から町に問いかけておりますので、是非各議員の内容をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関する質問	
新型コロナ感染症第3波への対応について	吉澤
コロナ禍における移住定住の現状について	山寺
新型コロナ感染症対策	松澤
新型コロナウイルス対策について	樋口
豊かな自然を守るまち	
板沢地区への最終処分場建設計画について	向山
太陽光発電施設計画について	向山
松くい虫対策と森林整備について	樋口
横川蛇石発電所竣工について	小澤
健やかな笑顔あふれるまち	
ヤングケアラー支援について	津谷
高齢者の残薬と多剤服用対策について	津谷
第8期辰野町介護保険事業計画等について	瀬戸
ぬくもりの里の施設利用について	瀬戸
福祉灯油券事業の改善について	吉澤
可燃ごみ等のゴミステーション新規開設	松澤
生活困窮者へに対応について	向山
荒神山スポーツ公園について	池田
移住定住施策の成果と課題について	樋口
辰野病院について	矢ヶ崎
安心・安全なまち	
ドライブレコーダー購入・設置促進について	津谷
災害時における外国籍の人々への支援について	松澤
民生児童委員の活動について	矢ヶ崎
仕事に活力と魅力があるまち	
北沢東の企業誘致について	舟橋
明日を担う人材と文化を育むまち	
放課後学習支援について	瀬戸
辰野町内小中学校の教育方針について	山寺
町内小中学校のあり方について	向山
平出保育園移転について	池田
高校再編計画における辰野高校存続について	小澤
川島小学校存続問題について	小澤
辰野町における教育全般について	矢ヶ崎
行政改革の推進によるまちづくり	
やさしい日本語の活用について	吉澤
辰野町第五次総合計画の評価について	池田
自治体のデジタル化時代の到来について	舟橋



・全ての項目はホームページで閲覧できます。
・質問は「辰野町第五次総合計画後期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。



津谷 彰 議員

ヤングケアラーの実態調査と支援は

町長
町による実態把握の調査はしていない

問 教育現場の対策は。

教育長 児童・生徒が二日連続で休んだ場合は必ず、家庭訪問をして状況を把握している。心と身体相談室として保健室を窓口としているが今後、町の校長会でヤングケアラーという視点で一人ひとりを見直していく指示をしていく。

問 相談窓口の環境づくりや支援体制は。

課長 あらゆる見守り活動をするなかで、周囲が異変に気付くことが大切。横の連携を図りながら支えていく体制をつくる。SNS等を使い、経験した先輩などによる、悩みや相談に答える等の事例を参考にしたい。「健康づくり計画21」の中にある児童・生徒のSOSの出し方に関する教育に紐付けて行きたい。

子どもが困難に直面したときに相談や支援を求めやすい環境を積極的に整えていく。



高齢者の残薬と多剤服用の対策は

問 実態調査の方法は。

課長 今年度から実施の、高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施事業により、75歳以上の方のレセプト情報によりある程度の判断ができる。医療機関、高齢者事業所、調剤薬局が聞き取り調査を実施している。

問 具体的な服薬指導は。

課長 国保加入時、後期高齢者になった時の健診データや介護情報などを一括にして健康寿命の延伸に繋げていく事業に沿って適正服薬の促進を行う。また、かかりつけ薬局の推進なども行う。
他の事業の優先度により順次取り入れる。



その他の質問

ドライブレコーダーの購入・設置の推進を。

低所得者が利用できる特別養護老人ホームの増床を



瀬戸と純 議員

町長

コロナ禍で、料金の安い相部屋増床は現実的でない

問 認知症高齢者グループホーム家賃補助の考えは。

課長 考えていない。在宅介護支援の介護用品購入補助を施設利用者にも幅広く支援していきたい。

問 移動手段の一手段として、訪問型Dサービス(移動支援)計画策定を。

課長 地域ケア推進会議の専門部会で検討したい。

問 町内の小規模多機能型居宅介護事業所が「利用希望がない」として8年間休止している。現在は看護付き施設の住民要望が増えていると考える。看護小規模型居宅介護事業所(通称:看多機)設置の考えは。

課長 小規模多機能型居宅事業所整備要望が事業所から出ている。在宅での看取りなどニーズは高まっているが、現段階では、看多機整備は考えていない。

問 町内の訪問リハビリテーション体制の拡充を

課長 両小野診療所と辰野病院が実施している。限られた人員で実施しているが、辰野病院には余裕がある。ぜひ利用してほしい。

問 令和3年度から要介護者の総合事業利用が始まる。介護保険サービスを減らして利用を移すことが無いよう求める。

課長 介護度にあった資格者によるサービスは必要。総合事業も利用できるという考えだ。

3年間利用されていないぬくもりの里1階部分の一部を、地域包括支援センターとして利用する考えは

課長 庁内の他の係と繋げるためにも現段階で単独利用は考えていない。利用方法は検討して来たが具体的にない。



ぬくもりの里ホールを使用した、2019年12月ほたるの里音楽祭の様子

中学3年生への放課後学習支援の延長を

課長 8月20日~10月23日までの平日放課後実施してきた。今後1月実施について学校と相談する。

新型コロナ感染の国保事業主に傷病手当金支給を



吉澤光雄 議員

町長

見舞金の形で1人7万円支給する

問 新型コロナ第3波への対応で、上伊那の専用病床は十分確保されているのか。今後の見通しは。

事務長 各医療機関の病床数は公表されていない。病床確保は、県が全県的に対応している。

問 感染を抑えるにはPCR等の検査拡充が必要。町民や事業所が無料で検査を受けられるのはどういう場合か。

課長 症状があり、保健所と医療機関が必要と認めて検査した場合、無料になる。

問 院内感染を防ぐため、町内の医療・介護施設が無料で定期的に検査を受けられる取り組みを。

課長 国から一斉・定期検査を強めるよう通知があり、県が対応する。町内関係機関に周知する。

問 師走の書き入れ時の第3波で、町内の事業者も苦しい。6月議会で空気清浄機設置の補助や、町支援金の給付条件緩和等を提案した。これらも踏まえて事業者に追加支援を。

課長 国の第3次補正を踏まえ、商工会や窓口の声を基に、効果的な支援を計画したい。

やさしい日本語の活用を

問 防災無線は、誰にでも分かりやすい日本語で。

課長 国も勧めており、努力する。

問 やさしい日本語を、行政文書や説明に活用を。

町長 今年6月の課長会で、住民の立場に立って分かりやすい文書と説明への工夫と取り組みを指示した。今後も取り組んでいく。

福祉灯油券制度の見直しを

問 今の制度は交付基準の灯油単価が91円と高すぎ、なかなか交付されない。低い基準単価を設け、交付を2段階にして交付しやすくしては。

課長 灯油が高騰した時に対応する制度なので、提案のような変更は考えていない。



冬場の暮らしにかかせない灯油

山寺 はる美 議員



3期目の教育長の所信表明を

教育長
子ども達の学びのために全力で頑張りたい

問 町内小中学校の教育長の教育方針は。

教育長 自己肯定感を高め自立する力を持つ強い心身の育成、健やかな心を持ち他者と共生し、郷土愛を持った子ども達を育成したい。

問 少子化に伴う小学校の統廃合は喫緊の課題と思われるが、川島小学校の統廃合についての教育長の考えは。

教育長 学校の適正規模に関するあり方検討委員会の結論を支持する。しかし子ども達の教育環境の維持は別問題として考えないといけないと思っている。

問 今年度町は保育園個別施設計画の策定をはじめた。その中で平出保育園は、建物の老朽化と周辺の環境の不安から移転整備が長年の課題とされてきた。平出保育園のあり方の結論は。

課長 新しいモデルの保育園を検討中。今年度3月26日までに基本構想を作成予定。



結果が待たれる川島小学校(上)と平出保育園(下)

コロナ禍における移住定住政策は

問 コロナ禍で社会の流れは大都市一極集中から地方への分散という傾向が強まっている。町の移住定住人口に変化はあったか。

課長 大きな変化はないが問い合わせは増えている。新型コロナウイルス感染症が落ち着けば実際に移住する人は増えると思う。

問 若い世代の移住定住には町の所有している土地を宅地造成して都会の若者に売り出すべきでは。

課長 来年度から宅地を分譲して売り出す予定。

松澤 千代子 議員



避難所における外国籍の方への支援をどう考えるか

町長
わかりやすい日本語表示の研究をしていく

問 外国籍の方に災害の状況を伝えるのは難しいことだが、やさしい日本語を使って周知する研究の考えは。

課長 研究はまだまだこれからだと思っているが、わかりやすく簡潔な日本語の表示は必要だと感じている。そのため、誘導や案内の表示は「ピクトグラム」といわれる絵による表示を活用していく。

また、翻訳機も必要となってくるが、総務省の情報通信研究機構が推奨している無償のスマートフォン音声翻訳ガイド「ボイストラ」の利用を進めていきたい。町民の皆さんにも知ってもらい呼びかけをしていく。

問 県主催の「多文化共生のための防災訓練」が行われている。町で行う予定は。

課長 この訓練は、外国籍の方が比較的多い地域で行われているので、今のところ町では予定していない。機会があれば県と協力していきたい。



駒ヶ根市発行のハンドブック

ゴミステーションの新設は

問 人口が増加した地域のゴミステーション新規開設要望が認可されない理由は。

課長 ゴミの分別のしかたが変わり、可燃ゴミの量が増えたことや、伊那市のクリーンセンターへの運搬距離を考慮すると、時間的余裕がないため新設はできない。

問 住みやすいまちづくりの一環とは考えられないか。

課長 現在、ゴミステーションの配置や管理は、区にお願いしている。町内会や常会の枠を越えて区全体で適正になるよう、区内での統廃合や移設をお願いする。

板沢最終処分場、町が反対の根拠は



向山 光 議員

町長 町にとって大切なものを守る、これに尽きる

問 最終処分場問題の経過を町民へ伝える考えは。
課長 現地調査の解析結果とその後の対応について方向が出たタイミングで考える。

太陽光発電計画への地元不安にどう向き合うか

問 条例によって許可制にした目的は。
課長 景観や自然環境に調和し、適正に設置、維持管理されることによって、安全・安心な生活が確保できることを目的とする。
問 町が許可をする立場は、板沢問題と同様に町の国土を守るという考えで。
課長 地域住民が抱く不安の原因に対し、情報提供や解決方法を共に考える必要はある。町の立場は基本的に中立であるが、不安解消に向け、地域住民へ密に情報提供を行う。
問 環境審議会での審議の意味と専門的な知見は。
課長 審議会の意見は町の決定に際し重要な指標になる。必要に応じて専門委員の任命を行い、町としても知見の蓄積を行う。
問 住民や地権者の相談や不安にどう応えるか。
課長 住民が適切な判断ができるよう、情報提供していく。



各地で進む大規模な太陽光発電設備

顕在化しない生活困窮者へ支援をどう届けるか

課長 保育園・学校の子どもを通じて保護者へチラシを渡す、SNSの活用や人が立ち寄るスーパーなどへチラシを置く等していく。相談会にあわせてフードバンクを行い、関係団体とも連携していく。

その他の質問・意見

・町長発案の辰野型校舎併設小中一貫校に関する検討は教育委員会で進めるべき。

辰野町第五次総合計画の評価は



池田 睦雄 議員

町長 一定の成果が出ており次につなげていく

町長 4大プロジェクトに地方創生事業と事前防災対策を加え取り組んだ。企業誘致は北沢東地区で環境整備が進み、病院経営健全化は外部専門家を巻き取り組み中。道路網は歩道拡幅工事推進、両小野バイパス調査費決定や県道与地辰野線延伸等17区とPTA要望に応じてきた。地方創生は若者の人口還流策で旧ウォーターパークを未来館アラパに再生し、防災は住民参加型防災マップ作成と非常用持ち出し品セットの斡旋販売を実施した。新型コロナ感染症の新たな課題を優先したため各施策の軌道修正を行う。地域包括ケアシステム構築等、第6次総合計画につなげる。

問 評価結果は町民にどのように伝えるか。
課長 町ホームページとコロナ禍で延期中の区住民ワークショップを活用する。

スピード感を持って平出保育園の移転を

問 昨年3月の平出区要望の移転進捗は。
課長 平出保育園移転は未来に向けた新しいモデルとし、区内公共施設との併設も一つの案として構想中。コロナ禍で計画が遅れている。
問 11月の「保育園個別施設計画町民アンケート」のねらいは。
教育長 将来の保育園のあり方を検討するもので、平出保育園移転を再検討するものではない。
要望 平出保育園移転は安全面と防災面からもスピード感を持って実施してほしい。



県道沿いの平出保育園

荒神山スポーツ公園施設の課題は

問 3密になりやすいアラパのコロナ対策は。
課長 受付の検温で入場制限し、施設ごと入室人数を制限する。マスク着用等もお願いし換気も行なう。
問 老朽化した武道館の今後は。
課長 施設統廃合を検討しているが、利用者が増加傾向であり施設統廃合は様子見とする。



舟橋 秀仁 議員

デジタル化への取り組みは

町長 来年度行政サービスのオンライン化を推進する部署を新設する

問 辰野町のマイナンバーカードの普及率は。
課長 11月末現在の交付率は24.5%。県内では5番目、上伊那では最も高い。カンタン申請を継続。町主催のイベントや地域に出向き、定期的に夜間の受付もして更なる普及を目指す。

問 今後マイナンバーカードに搭載予定のサービスは。
課長 来年3月に健康保険証、10月にはマイナポータルでの医療費・薬剤情報の閲覧開始が予定されている。現在は町独自のサービスは具体的にはないが、庁内に検討委員会を設け、将来に向けた調査を行っている。

問 7月に導入した町公式LINEアプリの今後のスケジュールは。

課長 来年の予算化が必要だが、町のLINE公式アカウントとLINE Pay(決済送金機能)、マイナンバーカードの本人確認機能を連携させ、行政手続きの必要な情報検索から申請・支払いまで、全てをワンストップで行えるサービスを検討中。

問 デジタル化の波をどう考えるか。

町長 急速に進む人口減少による人手不足問題の解決に向け、デジタル活用に最も期待している。高齢化が進み自治体業務も増加傾向にあり、デジタル化により生産性向上を図り、住民にはより質の高いサービスを提供していく。

北沢東の企業誘致は

問 現在の進捗状況は。
課長 数社から問い合わせがあるが、現時点では面積等の条件で折りあいがついていない。地権者の要望の7ha全て利用いただくことを前提に進めている。

問 東西線の渋滞緩和策は。
課長 今後県が実施する交通量調査の結果を見て現状を把握し、対応策を検討していく。国道から東西線への右折レーンについては継続し伊那建設事務所に要望していく。



町の公式LINEアプリのメニュー画面



樋口 博美 議員

年末年始、学生の帰省支援は

町長 PCR検査や抗原検査の費用補助を行う

新型コロナウイルス対策について

問 誹謗中傷への対策は。
町長 各メディアを通じて徹底していく。

問 年末年始町へ帰る学生への検査費用補助は。

町長 町内実家へ帰省する、町外へ里帰りした際町へ帰る時のPCR検査20,000円、抗原検査7,500円を上限に1回補助する。



検査補助金チラシ

移住定住施策について

問 移住定住施策の実績は。
町長 空き家バンク、DIYへの補助、商店街の空き家紹介など。毎年80人程度の移住実績。

問 分譲型町営住宅への取り組みは。
課長 空き家を借り上げての事例もあり、今後考えていきたい。

問 地域活性化と、その真ん中にある学校の姿は。
課長 子育て世代に選ばれる学校、住み続けたい地域を作ることが重要。

松くい虫対策と森林整備について

問 松くい虫対策協議会の果たす役割は。
課長 被害まん延の未然防止と防除対策を推進し、松林の保護育成を図る。

問 被害拡大の要因は。
課長 松素材、薪の移動も要因の一つ。

問 薪の移動への注意喚起は。
課長 時期を見て広報等で町民へ啓発していく。

問 各森林整備事業に加えて、災害、松くい虫防除等ふまえて、町独自の里山整備の指針が必要では。
課長 指針を見直ししながら、町の施業体系が作れば、譲与税等利用して里山整備の指針の中を含めて考える。

要望 100年かけて作ってきた松の見える風景を守るために積極的な里山整備を進めることを要望する。

川島小学校の存廃 について表明する 時期はいつか

町長

来年1月25日の総合
教育会議において



小澤 睦美
議員

総合教育会議において協議・調整を行うのか

問 本来の総合教育会議の設置の趣旨は、事案に対して、町長と教育委員会とが、協議・調整を行い決定することである。平成30年の時は、町長の一方的な存続宣言により、決まってしまった感がある。今回は協議・調整を行う考えはあるか。

教育長 前回の総合教育会議においても、町長の立場、教育委員会の立場で協議したつもりであるので、今回も各立場で協議する。

問 先の教育委員会見解中の、「統合の実施日は早急に決定する必要がある」との教育委員会の考えは、現在も変更ないか。

教育長 現在通学している子ども達の学びは、保証しなければならない。従って、ある程度の猶予期間は必要である。

横川蛇石発電所竣工に伴う観光への活用は

問 町として、この観光資源を活用し、地域の発展に繋げていくための構想はあるか。

課長 横川渓谷原生林トレッキングのスタンプ帳への掲載、横川ダム・蛇石発電所カードの制作等、一帯に足を運びきっかけになる。観光協会とも連携し、観光活用を図っていく。



10月27日竣工 横川蛇石発電所

高校再編計画における辰野高校存続に向けて

問 学校、町、地元企業、地域をつなぐコーディネーターの確保は出来たか。また活動状況は。

課長 地域おこし協力隊1名を委嘱。高校もSDGs（持続可能な開発目標）の考え方のもと、高校と地域をつなぐ活動を行っている。

問 高校生が希望しているサッカー場のトイレ改修や登校坂の電灯増設の考えは。

課長 学校側は、校内トイレの改修が進んでいないなか、サッカー場のトイレ改修は希望しないとのこと保留中。また、電灯増設については、再度検討する。

民生委員の なり手不足対策は

町長

無理なく活動できる
仕組みづくりに努力する



矢ヶ崎 紀男
議員

課長 民生委員の負担軽減で無理なく続けられる仕組み作り。行政が職務を明確にし、委員本人や関係機関に周知すること。

民生委員の職務を大幅に超えた依頼や過剰な負担とならないよう、地域の福祉活動のボランティアとの役割分担をする。

問 なり手不足の原因は。

課長 民生委員の職務は法に規定されているが、抽象的なところがある。具体的な活動は個人の裁量に委ねられているのが現状。そのため、民生委員の職務か否かの線引きが曖昧で、民生委員の職務に含まれない作業を引き受けてしまうこともある。

町民の期待に応える辰野病院の取り組みは

事務長 コロナ禍で経営は厳しいが、何ができるかを考え実践している。職員から增收策や経費節減の意見を求め、接遇講習会を職種ごとに複数回実施した。

町における教育全般は

問 コロナ禍で子どもたちは何を学び、何を教訓としたか。

教育長 臨時休校で学校に行くことが当たり前ではなく、尊いことであることを知った。また、様々な制約から自分で考え工夫し行動し、やり遂げた満足感や達成感を感じ取った。決して例年通りにできなかったことへの切なさや悔しさなどは微塵もなかった。

問 教育環境の整備状況は。

教育長 長年の懸案であったトイレの洋式化がこの1年間で全て完了し、多額の財政負担が発生するが、町民の理解もあり一気に進めることが出来たことに大変感謝している。



辰野西小学校

問 次世代を担う人材育成の考えは。

教育長 自然を愛し、ふる里の歴史や文化、伝統を大切に育む心の教育である。郷土を愛する心は、今日・明日の体験が大人になって「よきふるさと」として甦ると考える。

今回は議会や議会だよりに対する ご意見を町民の皆さんから伺いました



田中 勇さん(宮木)



議会や行政について、自分としては新聞紙上だけだが、関心を持って見ている。議員のなり手不足は子どもを養育できるだけの報酬がないからだが、同じ仕事をしている議員間の報酬格差は、やる気が削がれてしまうため良くないと思う。



吉江 宏美さん(上辰野)

中学生議会については、子どもたちの思いを聞いて、その意見を取り入れてくれたことが、子どもたちの意気を揚げてくれた。体験だけでなく結果を出すことができた満足感は、今後も町のために何かをしたいという思いになったようだ。



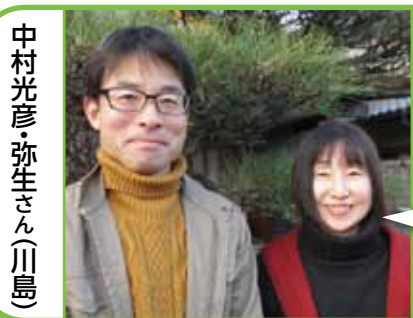
清水 恵美さん(下辰野)

議会だよりは、自分に関わりのある所は見たいが項目を探すのに時間がかかる。写真で見つけて、それから読むことにしている。私たち世代は新聞を取っていない家庭も多いので、スマホを活用した情報発信を考えてほしい。



皆さんの声を町に届け
より良いまちづくりに向け

尽力していきます



中村光彦・弥生さん(川島)

議会や行政については、家族で話すことが多い。町のHPはよく見ている。若者を取り込むにはネットだ。町民の声や意見もSNSなら出てくるだろう。高齢者向け情報は以前の有線放送のような耳から入るものが良いと思う。水曜日の夜間延長業務はありがたい。故郷を離れたコロナ禍の子どもたちへの支援は、いち早く実施してくれてありがたかった。親も子もその応援や、行政に頼るだけでなく、いずれ恩返しをする気持ちでいたいものだ。

次回定例会のご案内

－ 3月定例会予定 －

開 会 3/1(月)

閉 会 3/18(木)

一般質問 3/8(月)・9(火)

委員会審査 3/10(水)-12(金)

※確定した日程は新聞等でご確認ください

編集後記

政治は誰のために

かなり前の演説会で繰り返されたこの印象深いフレーズを、今思い出しています。政治の役割の大きさが、コロナで改めて浮き彫りになったのではないのでしょうか。「町政は誰のためにあるのか。」の問いを胸に、町民のみなさんに役に立ち、分かりやすい議会だよりをめざします。

今後ともよろしく願います。

議会広報編集委員 吉澤光雄

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。お気軽に議会事務局までお寄せください。